

# 地域おこし協力隊を 紹介します



## 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事等の「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期は概ね1年以上、3年未満です。

潮来市でも平成29年より地域おこし協力隊制度を導入し、現在の隊員を合わせてこれまで7名の隊員が様々な活動を行ってきました。今年の4月から新しく1名が着任し、現在合計3名となった潮来市地域おこし協力隊員に、改めて潮来を選んだきっかけや活動内容について聞きました。

○プロフィール(写真下)：①出身地  
②着任時期③潮来の好きなおこし



## 空き家リノベーションを通じたまちづくり

私は前々から地域おこし協力隊に興味があり、昨年11月に行われた2泊3日の「おためし地域おこし協力隊」に参加しました。その際、舟体験や美味しいお酒をいただき、潮来を五感で感じられ、自分がここで生活するイメージを持つことができました。コロナ禍による様々な変化を感じた中、今やりたいことをやりたい場所でやろうと素直に思い、応募しました。

私の活動ミッションは、「空き家リノベーション利活用」です。空き家のリノベーションや利活用を通じ、人が集まる空間づくり等の活動を行っていきたくと思っています。海外で取得したタイマッサージやバリスタの資格を活かせるような事業を今は考えていますが、そのための知識や技術をまずは学び培っていきたくあります。未経験の分野ゆえ不安はありますが、地域活性化に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。もちろんミッション以外でも活動していきますので、潮来市の皆さん、ぜひよろしくお願ひいたします！



は が けん た  
羽下 健太さん

- ①埼玉県春日部市
- ②令和5年4月
- ③趣味の釣りやサイクリングにうってつけなところ。また古い建物やお店が残っていてノスタルジックを感じます。

## 水郷潮来の水辺を盛り上げる

前職の北海道長沼町の職員だった時に地域おこし協力隊制度を知り、昔から起業と地域振興に興味があったので、協力隊を目指すことに。大学の時に住んでいた東京の近くか北海道かどと考えていたら、潮来市の募集を発見。募集要項にあった「面倒見の良い職員付き」というフレーズが面白いと思い応募しました。

私は主に2つのテーマで活動しています。1つ目は潮来の水資源を活用したまちづくり。SUP<sup>\*</sup>を活用し潮来の水辺を盛り上げる会社「一般社団法人いたこミズデザイン」を地域の方々と立ち上げました。今後はイベント等を開催し、潮来の水辺を盛り上げていければと思っています。2つ目は若者が活躍できるまちづくり。アントラーズビジネスカレッジ等様々な研修を経て、「若者が活躍しているまちは盛り上がる」という考えが強くなりました。この学びを活かし、協力隊制度を活用しながら人材を発掘していければと思っています。

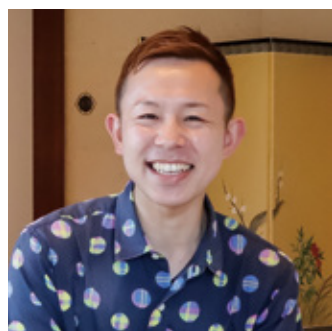
また、4月から筑波大学大学院地域未来創生教育コースに通っているので、そこでの学びも潮来のまちづくりに還元していければと思っています。

※SUP（サップ）…スタンドアップパドルボードの略。サーフボードの上に立ち、一本のパドルで左右を交互に漕ぎながら進むウォータースポーツ。



こばやし まさひで  
**小林 正英さん**

- ①北海道北広島市
- ②令和2年11月
- ③野菜が美味しい！  
人が優しい！！



たかはし まさゆき  
**高橋 将行さん**

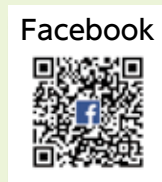
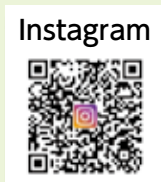
- ①東京都八王子市
- ②令和3年12月
- ③街全体の雰囲気がのんびりと穏やかなところ。JR鹿島線の車窓から見える潮来の街並みに癒されています。

## 好き・得意をいかし潮来に貢献していきたい

前職は東京下町の小さな金融機関で働いていましたが、前々から地方での暮らしにも興味があり、潮来市の地域おこし協力隊募集ツアーに参加しました。その際市内を案内して下さった小林隊員が自分と同じ出身大学であることに親近感！また小林隊員が地域の方々と良好な関係を築いているのを見て、潮来に住み働いてみるのも良いなと思い、一念発起して脱・東京しました。

私はこれまで、地域の方々と様々なイベントに参加してきました。特に、昨年磯山邸で行われた竹あかり制作ワークショップでは、竹筒の中でほんのりと揺れる無数の灯りに、地域の方々と共に素晴らしい景色を作れたことがとても嬉しかったです。また、デザインが好きで、「延方ふれあいにぎわい参道まつり」では、運営のお手伝いだけでなくチラシも作成させていただきました。今後取り組んでいきたいことは、大きく2つあります。1つ目は放置竹林の整備と利活用。伐採した竹を焼却し、土壌改良や水質浄化に役立つ竹炭を作れないかと考えています。2つ目は、和楽器の普及活動。大学の時に始めた和楽器、現在は箏を中心に鍛錬を重ねています。馴染みのない方にも、和楽器の音色を楽しんだり体験できる空間を、潮来市内でも創っていきたいです。

## 地域おこし協力隊の活動が見られます



協力隊しんぶん



市役所・道の駅いたこに設置

いいね！  
フォロー  
お願いします！

